

透析看護認定看護師

分野の役割

1. 透析療法を必要とする患者に対して、総合的な臨床診断に基づく個別的なケアを実践する
2. 透析療法に関する専門的知識と技術を用いて、最適な透析効率を保証し、安全で安楽な透析療法を透析医療チームと協働して実践する
3. 長期にわたる療養生活を支援するため、セルフマネジメントに関わる患者教育を実践する
4. 透析看護を必要とする患者・家族の権利を擁護し、自己決定を支援する看護を実践する
5. より質の高い医療を推進するため、他職種と協働し、チームの一員として役割を果たす

実際の活動内容

当センターでは血液透析や腹膜透析だけでなく、腎臓移植や在宅血液透析という全ての腎不全治療を提供できる恵まれた環境にあります。

透析（血液透析・腹膜透析）を受けている患者様への看護はもちろんのこと、透析導入前の腎不全保存期の患者様に対しても、腎臓を守るための教育やセルフケア支援を継続的に行っています。

また、透析導入が近い患者様に対しては患者様・ご家族が主体的に治療法を選択できるよう意思決定支援を行っています。

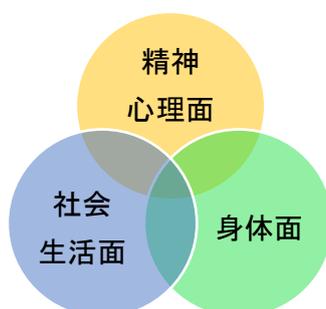
高齢や身体機能の低下等から、社会資源を必要とする透析患者様も多いため、適宜訪問看護師やケアマネージャーと連携を図りながら、必要時は患者様の自宅訪問を実施しています。

院内では腹膜透析のバック交換等、透析療法を必要とする患者様に対して、病棟へ支援に出向き、必要時は病棟看護師への勉強会も開催しています。

さらに、2015年3月より腎不全看護研修を開始し、全国から研修生の受け入れを行っています。当センターのみならず、日本の腎不全看護の質向上を目指す活動にも取り組んでいます。

透析看護・腎不全看護の醍醐味

慢性腎不全は現在の医療では治ることのない疾患です。そのため患者様は一生涯、病いを抱えながら生きていく必要があります。患者様がこれまで生きてきた過程と、今後どのように過ごしたいのかという希望や価値を理解し、透析を受けながらも患者様がその人らしく生活できるように支援することが、透析看護の醍醐味だと感じています。



包括的な支援
を大切に
しています



慢性腎不全の患者様

一生涯、病いと共に生きる必要がある
その人らしく生活できる支援を！

